

## 平成29年度第3回 犬山祭保存会理事・役員会議事録

日時	平成29年8月12日(土) 19:00～21:00
場所	犬山市福祉会館 401・402会議室
出席者 (敬称略)	<p>【役員】会長(石田)、副会長(多和田)、会計(下山)、祭礼準備委員長(水田)、伝統文化委員長(小林)、伝統文化副委員長(市橋・長井)、てこ委員会(長谷川)、てこ副委員長(浅野・吉田)、からくり振興部長(加藤)、企画広報委員長(松田)、事務局長(溝口)、会計補佐(松岡)、企画広報委員(吉田、林)</p> <p>【理事】下本町(柴田)、中本町(尾関)、熊野町(浅野)、新町(白木)、本町(兼松)、練屋町(前田)、寺内町(岩井)、余坂町(小島)、外町(多和田)</p>
議事	<p>I. 報告事項</p> <p>①長谷川てこ委員長、溝口事務局長からの報告事項</p> <p>II. 議題</p> <p>①法人化について②からくり町巡りについて③からくり館新築について④その他</p>

議事内容	
I. 報告事項 ①長谷川てこ委員長からの報告事項	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月22日、23日に行われた日田祇園祭を視察。犬山祭保存会として、北九州豪雨被災の義援金を当地の保存会長、市長にお渡しした。(¥141,512)</li> <li>日田の祭礼は、約10メートルの山車が8輛巡行する祭であり、山車蔵には古い幕類が展示され、寄附金箱が設置されていた。財政が豊かではないと思われる。</li> <li>会長はかなり高齢な方であり、石田会長も未だ長くやって頂けると思う。</li> </ul>
②溝口事務局長からの報告事項	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>津島天王祭、蟹江須成祭、桑名石取祭を視察。いずれも観光客が前年比で3割ほど増加しており、昨年のユネスコ無形文化遺産登録の影響が窺えた。</li> <li>埼玉県秩父市でのシンポジウムに参加。日立風流物の責任者のパネリストの方が、ユネスコ効果として祭関係者が「覚醒」したと述べられた。</li> <li>秩父市のパネリストから、祭の回遊性町づくりについての提唱があり、犬山の10月のからくり町巡りは、その実証実験としての側面も期待できると思われる。</li> </ul>
II. 議題 ①法人化について	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>この秋以降の平成30年度の予算請求は、法人としての犬山祭保存会とする必要があるため、9月までには登記を済ませたい。</li> <li>設立時理事は次回理事会に住民票及び認印を持参する事。設立時社員は住民票、実印、印鑑証明書を持参する事。</li> <li>尚、監事は未定だが正・副会長一任でお願いしたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人化、またからくり館新設に関し、議論を深めたいので8月22日(火)午後8時より財務・企画広報合同委員会を会長宅2Fで開きたい。</li> </ul>
<b>II. 議題 ②からくり町巡りについて</b>	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国で180ヶ所が応募して、そのうち採択された20枠の1つに犬山が入った。中部圏では犬山だけなので頑張りたい。(歴史まちづくり課)</li> <li>趣旨は、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けての機運醸成として伝統文化を切り口にした施行プロジェクトであり、ポイントはインバウンド(外国人観光客誘致)とバリアフリー(障がい者対応)である。最大560万程の予算が見込まれ、その多くは広く告知する為の宣伝・広告費である。(歴史まちづくり課)</li> <li>保存会は、昨年通りからくりを披露してほしい。予算は1町内5万円となる。からくり町巡りは伝統文化委員会が担当する。 10月28日・29日のいずれで各町内が行うかはアンケートに基づいて次回理事会に提示する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー対策として、前列に車いすのスペースを設けていただきたい。また、英語通訳・手話通訳も付くのでご了解お願いしたい。雨天決行。</li> <li>今後の理事会で町内さんと十分な調整を行う。</li> <li>からくりはクールジャパンであり、犬山のからくり町巡りは世界的規模(インバウンド)である。この機会に若者、他地域からの新しい人材を確保したい。</li> </ul>
<b>議題. III ③からくり館新築について</b>	
報告／検討内容	<p>○現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>からくり館は敷地、建物共に借物である。かなり老朽化が進んでおり、敷地が土砂災害警戒区域に指定されている。 以上の理由により、早急に新築する必要がある。(歴史まちづくり課)</li> </ul> <p>○今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タイムスケジュールとして、 1step マスタープラン(平成29年度) 2step 設計(平成30年度) 3step 建築(平成31年度) を予定している。 1stepでは最重要関連団体である犬山祭保存会としっかり相談したい。 予定地として財政的に新しい土地取得はしない。建築費は1億程度と予定している。(歴史まちづくり課)</li> <li>この問題は、保存会の拠点施設でもあるので法人化とセットで準備したい。企画委員会でもしっかり議論してもらいたい。 予定地に関しても、行政が考えているところに限らず、例えば余坂、大本町等、町づくりの見地から考える事も出来る。いずれにせよ、議論を深める事が大切である。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28年度の入館者数は、文化史料館・からくり館が12万人、どんでん館が6万人と、地方都市の施設としては驚異的な入館者数である。</li> </ul> <p>特に、からくり館のような施設は日本に3ヶ所しかない。その中でも犬山のからくり館は出色である。</p> <p>また、九代玉屋庄兵衛の人気も、犬山で実感する以上に世界的にも評価されている。この素材を今後もっと生かしていく必要がある。</p>
--	--

議題. IV ④その他

報告／検討内容	<p>○出張・出展スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月5日(日)に「次世代育成イベント」として、龍王組の車山組みと巡行、1/2モデルの小学生の巡行、笑”のダンス等を予定している。交通整理にてこ委員会が協力予定→29年度予算外の事であるので、財政的支援は極めて限られているが、その他の便宜は可能な限り図りたい。</li> </ul>
---------	--

次回日時	平成29年9月9日(土) 19:00～21:00
次回場所	犬山市福社会館

記録日	2017/8/12
記録者	溝口